

☆三年たからあつめプリント☆

く国語・「きつつき」の商売①く



五月

日

()

名前

きつつきが、お店をひらきました。

それはもう、きつつきにぴったりのお店です。

きつつきは、森中の木の中から、えりすぐりの木を見つけてきて、かんばんをこしらえました。

かんばんにきぎんだお店の名前は、こうです。

おとや

それだけでは、なんだか分かりにくいので、きつつきは、その後、こう書きました。

「できたての音、すてきない音、おきかせします。四分音符一こにつき、どれでも百リル。」

「へええ。どれでも百リル。どんな音があるのかしら。」

そう言って、まっさきにやって来たのは、ちゃいろい耳をぴんと立てた野うさぎでした。野うさぎは、きつつきのさし出したメニューをじっくりながめて、メニューのいちばんはじっこをゆびさしながら、

「これにするわ。」

と言いました。

ぶなの音です。

「四分音符分、ちょうだい。」



① きつつきがひらいたお店の名前は何ですか。

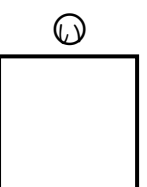
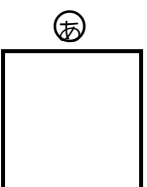
② きつつきのお店できかせてくわれるのはどんな音ですか。二つ書きまじょう。

③ 四分音符一こは、いくつですか。

④ はじめてのおきやくさんはだれでしたか。また、どんな音を、どのくらい買いましたか。

⑤ 野うさぎの耳のいろを漢字二文字で書きまじょう。

⑥ ㊦㊧は形の正しい字です。漢字で正しく書けまじょう。



☆三年たからあつめプリント☆

く国語・「きつつき」の商売②「く



名前

五月

日

()

ぶなの森に、雨がふりはじめます。
きつつきは、新しいメニューを思いつきました。
ぶなの木のうろから顔を出して、空を見上げてい
ると、

「おはよう。きつつきさん。」

「何してるんですか。きつつきさん。」

木の下で、声がありました。

見下ろすと、ぶなの木のねもとに、野ねずみの家
族が、みんなできつつきを見上げています。

たちつぽすみれの葉っぱのかさをかたにかつい
で、上を見上げているので、みんな、かお中びし
ょぬれでした。

「おとやの新メニューができたんですよ。」

きつつきは、ぬれたあたまをぶるんとふって、言い
ました。

「へえ。」

「今朝、できたばかりの、できたてです。」

「へえ。」

「でもね、もしかしたら、あしたはできないかも
しれないから、メニューに書こうか書くまいか、
考えてたんですよ。」

「へえ。じゃあ、とくべつメニューってわけ。」

「そうです。とくとく、とくべつメニュー。」

「そいつはいいなあ。ぼくたちは、うんがいいぞ。
それで、その、とくとく、とくべつメニューも、
百リル。」

「いいえ。今日のは、ただです。」



① きつつきは何を思いつきましたか。

② きつつきはぶなの木のうろから顔を出していましたが、
「くえらんで〇をつけまじょう。」



③ なみ線の言葉はだれの言葉ですか。

④ 野ねずみの家族が、かたにしていたものは何
ですか。

⑤ メニューに書こうか書くまいか考えていた
のはだれですか。また、どうしてですか。

⑥ 「とくとく、とくべつメニュー」のねだんは、
いくらですか。

⑦ ④と⑤は同じびんをもつ漢字です。正しく書
きまじょう。

あ

い

☆三年たからあつめプリント☆

～国語・「き」の商標③～



名前

五月

日

()

葉っぱのかさをさした十ぴぎの子ねずみたちは、きらきらしたきれいな目を、そろってきつつきにむけました。

「さあ、いいですか。今日だけのとくべつな音です。お口をとじて、目をとじて、聞いてください。」みんなは、しんとだまって、目をとじました。目をとじると、そこら中のいろんな音が、いちどに聞こえてきました。

ぶなの葉っぱの、
シャバシャバシャバ。
地面からの、
パシパシピチピチ。
葉っぱのかさの、
パリパリパリ。
そして、ぶなの森の、
ずうっとおくふかくから、
ドウドウドウ。
ザワザワザワ。



「ああ、聞こえる、雨の音だ。」

「ほんとだ。聞こえる。」

「雨の音だ。」

「へえ。」

「うふふ。」

野ねずみたちは、みんな、にこにこなずいて、それから、目を開けたりとじたりしながら、ずうっとずうっと、とくべつメニューの雨の音につつまれていたのです。

① きつつきはとくべつな音を、どんな風に聞いてほしいと言いましたか。

② 次のそれぞれのものからは、どんな音が聞こえてきましたか。

・ぶなの葉っぱ

・地面

・葉っぱのかさ

③ 「ドウドウドウ。ザワザワザワ。」という音は、どこから聞こえてきましたか。

④ 野ねずみたちは、どんなようすで音を聞いていましたか。

⑤ とくべつメニューは何の音でしたか。

⑥ 音読のくはひについて書きました。() () にあてはまる言葉を書きましょう。

よんで聞くとほつと言葉の前を後へ

少() () をよめ。



- ① 詩の本
- ② サッカーのルールが分かる本
- ③ 草花のそだて方をしらべられる本

しるしをつけている本は、それぞれどの番号に分けるかわかるかな。よさそうしてみよう。



図書館の本は、内ようごとに、番号で分けて
ならべられているよ！教科書30ページを見な
がら、下の表をうめてみよう！

本の分るいのしかたのれい		
番号	分るい	内よう
0	そう記	
1	てつ学	ものの考え方や心についての本
2	れきし	
3	社会科学	
4	自ぜん科学	
5	ぎじゅつ、工学	
6	さんぎょう	
7	げいじゅつ、びじゅつ	
8	言語	言葉の本
9	文学	

☆三年たからあつめプリント☆

く国語・図書館たんていだんく

名前

五月

()

日

()



● 絵の中の言葉を使って、動物園のようすを文に書きましょう。

Blank writing area with three vertical lines.

Blank writing area with three vertical lines.

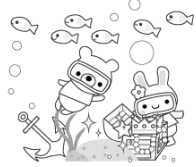
Blank writing area with three vertical lines.

Blank writing area with three vertical lines.

Blank writing area with three vertical lines.

く国語・漢字の広場①く

☆三年たからあつめプリント☆



名前

五月

日

()



Blank writing area with two vertical lines.



Blank writing area with two vertical lines.



Blank writing area with two vertical lines.

Blank writing area with two vertical lines.

Blank writing area with two vertical lines.



Blank writing area with two vertical lines.

☆三年だからあつめプリント☆

～国語・漢字の音と訓①～



名前

五月

日

()

次の文を読んでみましょう。

今日は、朝早く起きて、
ゆっくり朝食をとった。



朝

(音) チョウ 朝食 早朝

(訓) あさ 朝 朝顔

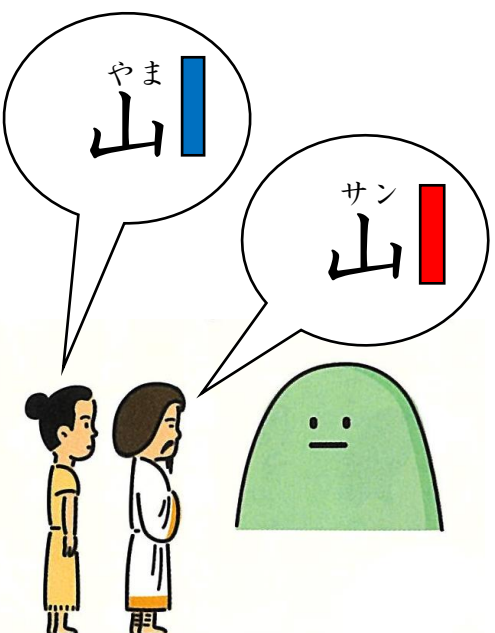
「朝」の漢字には、「音」と「訓」の二通りの読み方があります。

①教科書三十八ページを読んで、「音」と「訓」のちがいをまとめよう。

音	訓
聞いただけでは、 ものが多い。	聞いてすぐに、 がたくさんある。
<input type="text"/>	<input type="text"/>
<input type="text"/>	もの

②漢字の読み方が、音読みものは赤、訓読みものは青で口をぬりましょう。

- ・県道センダウぞいに、有名有名な公園がある。
- ・氷氷がとけて、水水になる。
- ・農家農家のおじさんに話話を聞聞く。
- ・毎日毎日、野球野球のれんしゅうする。
- ・ゆづびん局局までの近道近道を教教える。



☆三年たからあつめプリント☆

～国語・「漢字の音と訓②」～



五月

日

()

名前

① 次の——線の漢字の読み方を書き、同じ漢字で読み方のちがうものは、音はかたかな、訓はひらがなで、下に書き出しましょう。

〈れい〉

朝あさ早くおきて、ゆっくり朝食チヨウシヨクをとった。

(1) 物語の登場人物になりきって音読する。

(2) 午後チヨウに後ゴかたづけをしよう。

(3) 教科書を見て、字を書いた。

(4) 家の中から家族のわらい声が聞こえる。

朝		物		後		書		家	
訓	音	訓	音	訓	音	訓	音	訓	音
	チヨウ								
	あさ								

② ——線の漢字の読み方を、音はかたかな、訓はひらがなで書きましょう。分からないときは、148～156ページで調べましょう。

(1) 大切 大きい 大学生

(2) 遠足 足のうら 足りない

(3) 五十音 リコーダーの音 音色

(4) 数字 数える 大きな数

(5) 開店 店を開く ドアを開ける

(6) 人間 となりの人 人物

☆三年たからあつめプリント☆

く国語・「漢字の音と訓③」く



名前

五月

日

()

一 一線の漢字の読みを「音読み」はカタカナで、「訓読み」はひらがなで書こう。

① 遠足で行く公園が遠い。



② 切手をあつめて、とても大切に
する。

③ 合体して、力を合わせてたたかう。

④ なかよしの友だちを親友という。

⑤ 先生が、みんなよりも先に
行く。

⑥ となり町に小さな、小学校がある。

⑦ くつ下は二足あれば足りる。



⑧ 水道の水をのむ。

⑨ 母に電話でよていを話した。

⑩ 音楽は、とても楽しい。



二 次の漢字の「音読み」はカタカナ、「訓読み」はひらがなで書こう。

思	
訓読み	音読み

学	
訓読み	音読み

聞	
訓読み	音読み

花	
訓読み	音読み



三 「音読み」はカタカナ、「訓読み」はひらがなで書き、その読みを使った言葉も書こう。

岸			
言葉	訓読み	言葉	音読み
川岸	きし	海岸	ガン

氷			
言葉	訓読み	言葉	音読み



道			
言葉	訓読み	言葉	音読み

☆三年たからあつめプリント☆

く国語・漢字の広場②く



五月

日

()

名前

● たから物をさがしに出かけた、男の子のお話を書きましょう。
「そこで」「けれども」などを使ってみましょう。



| | |



| | |



| | |



| | |



| | |



| | |



Blank writing area with two vertical lines.



Blank writing area with two vertical lines.



Blank writing area with two vertical lines.



Blank writing area with two vertical lines.



Blank writing area with two vertical lines.



Blank writing area with two vertical lines.

☆三年たかからあつめプリント☆
 ～国語・きくしうきの商品～
 名前 音 日 ()

きつつきが、お店をひらきました。
 それはもう、きつつきにびったりのお店です。
 きつつきは、森中の木の中から、えりすぐりの木を見つけてきて、かんばんをこらえました。
 かんばんにさんだお店の名前は、こうです。
おじや
 それだけでは、なんだか分かりにくいので、きつつきは、その後、こう書きました。
 「できたての音、すてきない音、おきかせします。四分音符」こにつき、どれでも百リル」
 「へえ、どれでも百リル。どんな音があるのかしら」
 そう言って、まっさきにやって来たのは、ちゃいろい耳をびんと立た野うさぎでした。野うさぎは、きつつきのさし出したメニューをじっくりながめて、メニューのいちばんはじっこをゆびさしながら、
 「これにするよ」
 「おきかせしました」
 ぶなの音です。
 「四分音符分、ちょうだい」
 きつつきは、おじやの店をひらいたおじやの名前は、何ですか。
おとや
 きつつきは、新しいメニューを思い浮かべました。ぶなの木のうら顔を上げて空を見上げて、
すてきない音
できたての音
 四分音符分、百リル
 はじめての音、野ねずみの家族は、何ですか。
野うさぎ
ぶなの音も四分音、ぶ分
 野うさぎの耳のふちを漢字で「又」で書かしてあげよう。
茶色
 「開」の形は「開」の「開」で、漢字で正しく書かしよう。
開 **開**

☆三年たかからあつめプリント☆
 ～国語・きくしうきの商品～
 名前 音 日 ()

ぶなの森に、雨がふりはじめます。
 きつつきは、新しいメニューを思い浮かべました。ぶなの木のうら顔を上げて空を見上げて、
新しいメニュー
 きつつきは、おじやの店をひらいたおじやの名前は、何ですか。
野ねずみの家族
 なみ線の言葉は、何ですか。
野ねずみの家族
 おとやの新しいメニューが、かさにしていたものは何ですか。
たちぼすみれの葉は
 メニューに書くか書かないか迷っていたのは、何ですか。また、どうしてですか。
きつつき
あしがたりあしたは
できないかもしれないから
ただ
 「いえる。今日のは、ただです」
 きつつきは、おじやの店をひらいたおじやの名前は、何ですか。正しく書かしよう。
顔 **頭**

☆三年たかからあつめプリント☆
 ～国語・きくしうきの商品～
 名前 音 日 ()

葉っぱの大きさをさした十がきの子ねずみたちは、さらさらしたきれいな目を、そろってきつつきにむきました。
 「さあ、いいですか、今日だけのとくべつな音です。お口をどじて、目をどじて、聞いてください」
 みんなは、しんとだまって、目をどじました。目をどじると、そこら中のいろんな音が、いちどに聞こえてきました。
 ぶなの葉っぱの、
 シヤシヤバシヤバシ、
 地面からの、
 パンパシビチビチ。
 葉っぱの小さの、
 パリパリパリ。
 そして、ぶなの森の、
 ずうっとおくふかくから、
 ドウウドウ。
 ザワザワザワ。
 「ああ、聞こえる、雨の音だ」
 「ほんとだ。聞こえる」
 「雨の音だ」
 「うん」
 「うん」
 野ねずみたちは、みんな、にこにこなすいて、それから、目を開けたりどじたりしながら、ずうっとずうっと、とくべつメニューの雨の音にきこまれていたのです。
 きつつきは、おじやの店をひらいたおじやの名前は、何ですか。
おとや
 きつつきは、新しいメニューを思い浮かべました。ぶなの木のうら顔を上げて空を見上げて、
すてきない音
できたての音
 四分音符分、百リル
 はじめての音、野ねずみの家族は、何ですか。
野うさぎ
ぶなの音も四分音、ぶ分
 野うさぎの耳のふちを漢字で「又」で書かしてあげよう。
茶色
 「開」の形は「開」の「開」で、漢字で正しく書かしよう。
開 **開**

☆三年たかからあつめプリント☆
 ～国語・図書館たんていだん～
 名前 音 日 ()

図書館の本は、内ようごとに、番号で分けてならべられているよ！教科書30ページを見ながら、下の表をうめてみよう！

番号	分るい	内よう
0	そう記	しらべするための本
1	てつ学	ものの考え方や心についての本
2	れきし	むねのことやちきの本
3	社会科学	社会のくみの本
4	自ぜん科学	しぜんにわかる本
5	ぎじゆつ、工学	ぎじゆつやきがいの本
6	さんぎよう	いろいろなしごとの本
7	げいじゆつ、びじゆつ	げいじゆつやスポーツの本
8	言語	言葉の本
9	文学	文学の本

① 詩の本 9
 ② サッカーのルールが分かる本 7
 ③ 草花のそだて方をしりべらる本 6

※園げいかんけいの本は6るいだそうです。

☆三年たからあつめプリント☆

～国語・漢字の音と訓①～



名前 五音 日 ()

☆三年たからあつめプリント☆

～国語・漢字の音と訓②～



名前 五音 日 ()

次の文を読んでみましょう。
今日は、朝早くおきて、
ゆっくり朝食をとった。



朝

(音) チヨウ 朝食 早朝
(訓) あさ 朝 朝顔

このように、漢字には「音」と「訓」の二通りの読み方があります。

①教科書三十八ページを読んで、「音」と「訓」のちがいをまとめよう。

音 聞いただけでは、
ものが多い。
意味の分りにくい

訓 聞いてすぐに、
がたくさんある。
意味の分かる
もの

②漢字の読み方が、音読みのもは赤、訓読みのもは青で口をぬりましょう。

- ・県道そいに、有名な公園がある。
- ・氷がとけて、水になる。
- ・農家のおじさんに話を聞く。
- ・毎日、野球のれんしゅうをする。
- ・ゆうびん局までの近道を教える。



☆三年たからあつめプリント☆

～国語・漢字の音と訓③～



名前 五音 日 ()

①線の漢字の読み方を「音読み」はカタカナで、「訓読み」はひらがなで書こう。

②遠足で行く公園が遠い。

③切手をあつめて、とても大切に使う。

④合体して、力を合わせてたたく。

⑤なかよしの友だちを親友という。

⑥となり町に小さな、小学校がある。

⑦くつ下は二足あれば足りる。

⑧水道の水をのむ。

⑨母に電話でよていを話した。

⑩音楽は、とても楽しい。



②次の漢字の「音読み」はカタカナ、「訓読み」はひらがなで書こう。

思 音読み シ 訓読み おもふ

学 音読み ガク 訓読み まなぶ

聞 音読み ブン 訓読み きく

花 音読み カ 訓読み はな

(れい)

岸	音読み	ガン
川岸	訓読み	がし
海岸	音読み	ガン

氷 音読み ヒョウ 訓読み こおり

道 音読み ドウ 訓読み みち



① 次の——線の漢字の読み方を書き、同じ漢字で読み方のちがうものは、音はかたかな、訓はひらがなで、下に書き出しましょう。

- 朝早くおきて、ゆっくり朝食をとった。
- 午後に残かたづけをしよう。
- 教科書を見て、字を書いた。
- 家の中から家族のわらい声が聞こえる。

朝	音	チヨウ
朝	訓	あさ
物	音	モノ
物	訓	もの
後	音	ゴ
後	訓	あと
書	音	シヨ
書	訓	か
家	音	カ
家	訓	いえ

- 線の漢字の読み方を、音はかたかな、訓はひらがなで書きましょう。分からないときは、148〜156ページで調べましょう。
- 遠足 足のうら 足りない
- 五十音 リコーダーの音 音色
- 数字 数える 大きな数
- 開店 店を開く ドアを開ける
- 人間 となりの人 人物

※⑤・⑥・⑩のプリントの解答は個人で違うので省略します。きちんと書いていたらお家の人の判断でOをしてあげてください。